

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福祉法人 別福会	代表者	北地 輝昭	法人・事業所の特徴	「わたくしたちは、地域とともに歩み、地域から愛され信頼され希望ある施設づくりをめざします。」という理念のもとに、ご利用者様を主体とし、地域連携を基礎に寄り添ったケアを実践している家庭的であたたかみのある事業所です。				
事業所名	福祉の森 光町事業所	管理者	松川五織理						

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人		6人			1人		4人		12人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・利用者様、家族に対しアンケートの実施。 ・外部、内部研修の継続。	・外部研修に2名参加し資格取得に繋げている。 ・毎月1回内部研修の実施。 ・事業所内では、主任以上研修の参加。	・月1回定例ミーティングに全職員が参加し行っているのがわかる。 ・「利用者・家族に対しアンケートの実施」に対する取り組みがわかるように記載してほしい。	・外部・内部研修の継続(コロナで難しい時はリモートで参加)。 ・各担当者がケアプランの目標について把握・理解できるよう配慮する。 ・家族に対し郵便にてアンケートを行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	・壁画づくり等、新聞に掲載。 ・事業所内外の整備の継続。	・壁画づくりは、担当を決め毎月実施し玄関ホールに飾り新聞に掲載しています。 ・事業所内は、不用品の廃棄。 ・事業所外の草取りの実施。	・不用品の廃棄や草取りなど、動線を確保することで事故防止にもつながると思います。 ・感染対策を意識した空間づくりができるようにするといいと思います。	・入り口玄関を定期的に換気する事で清潔な空間を保つよう気を配る。 ・新型コロナウイルス等の感染症対策を意識した空間作りを行う。
C. 事業所と地域のかかわり	・コロナ感染予防をしたうえで地域の行事への参加の継続。 ・接遇マナーの研修(月1回)	・毎月、交通安全に参加しています。 ・接遇マナー研修は、毎月ミーティングで実施しています。	・交通安全に参加出来ていることは良いことだと思います。 ・あまり出来てない人がいる。	・事業所の広報誌及びパンフレットの内容を見直しを図り、回覧板の活用やコロナ過に合わせたPR方法で事業に関して地域の理解を求めていく。 ・交通安全への参加の継続。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・地域包括支援センター、民生委員との連携の継続。 ・利用者様の地域の民生委員の把握に努め連携して支援する。	・地域包括支援センターや民生委員さんから新規利用者様の紹介あり利用開始されています。 ・地域の民生委員の把握は、コロナの影響もありすんでいません。	・民生委員さんが地域の事をよく把握しているので、民生委員さんとの連携がとても大切です。	・地域の行事等の情報収集を行い、新型コロナウイルス感染症対策に配慮した上で交流の機会を確保する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・光町全体に新聞を入れていただけるようにする。 ・新聞の内容を変えQ&Aや壁画づくり等の様子を掲載するようにする。	・光町1区、2区、3区の自治会長さんの協力もあり、2ヶ月に1回新聞を回覧板に入れてもらっています。 ・新聞を見て問い合わせもあり利用者増に繋がっています。	・回覧板の中で目立っていいと思います。 ・新聞を見る事で、どのような事が行われているかよくわかるので今後も継続してほしい。 ・光町の利用者がもっと増えれば地域とのかかわりや理解も増えてくると思います。	地域での取り組みや、心配な方についての情報交換の場として運営推進会議を有効活用していく。
F. 事業所の防災・災害対策	・防災訓練の実施(年2回) ・マニュアルの再確認し見える所に貼る。	・防災訓練6/29実施。次回11月の予定。 ・マニュアルを作り新人職員でもわかるように二か所に貼っています。	・マニュアルは定期的に見直し常に最新の状態にしておくにしたら良いと思う。 ・避難経路の確保、火の元の確認練り返し訓練する事で迅速な行動がとれるようになると思います。	・今後も今までにない非常事態が起こりうると予想される為、引き続き防災・災害対策を行っていく。 ・防災訓練の実施(年2回)